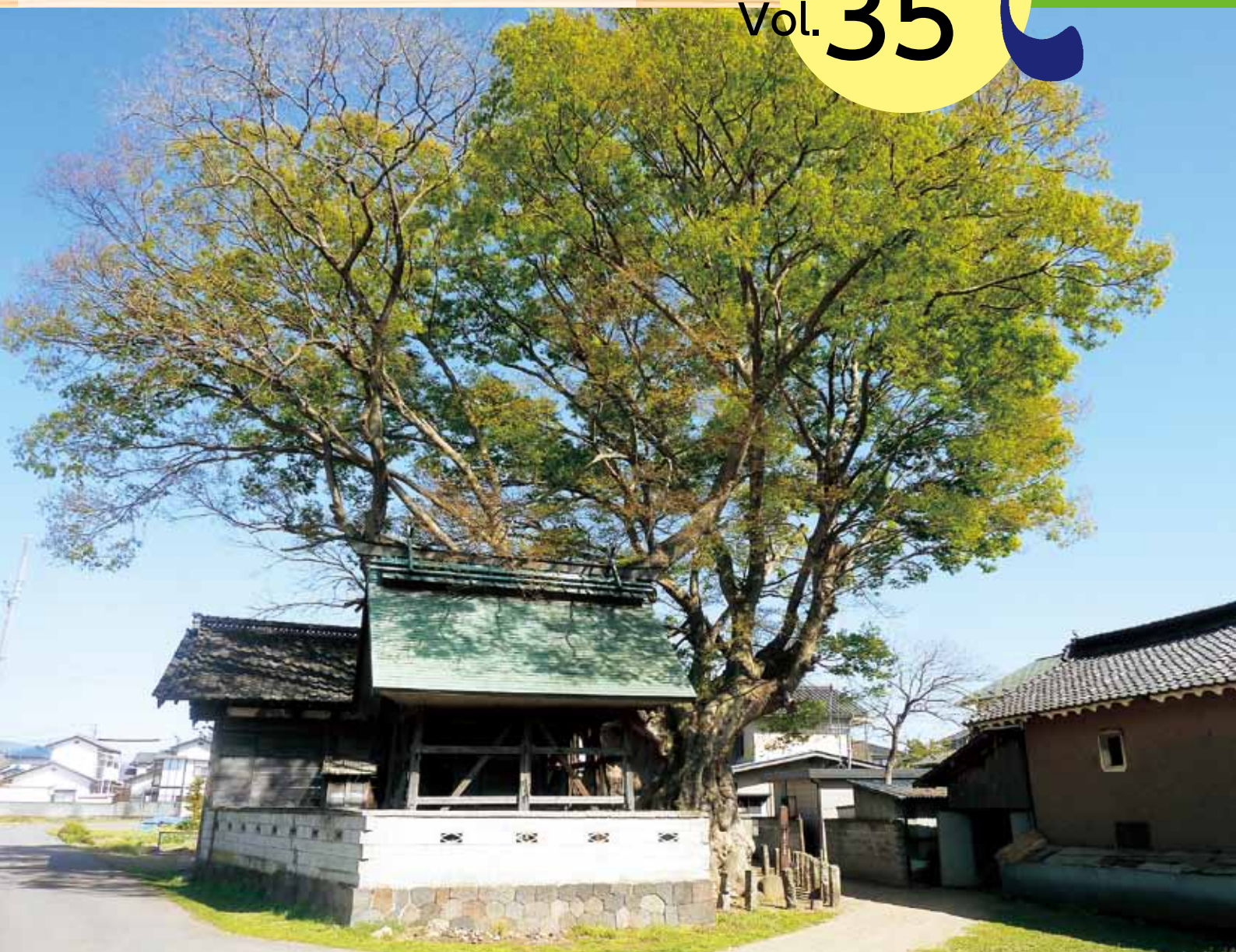


● 第18回通常総代会	2
● 森林経営計画で森林整備を進めましょう	4
● 境界明確化事業の取り組み	5
● 組合の活動あれこれ	6・7・8
● ようこそ!特産センターへ	9
● 自然をたのしむ森林レシピ	10
● ニューフェイス紹介	11
● 組合からのお知らせ	12

やまび

Vol. 35



「天神宮のケヤキ」 上田市岩下

通常総代会 開催



全議案原案通り承認

三月二十二日、第十八回通常総代会が上小森林センターにおいて開催されました。総代一八五名（内委任状六三名）が出席し、議長に上田市武石の坂部詠章氏を選任して議事が進められ、八議案全てが原案通り可決承認されました。

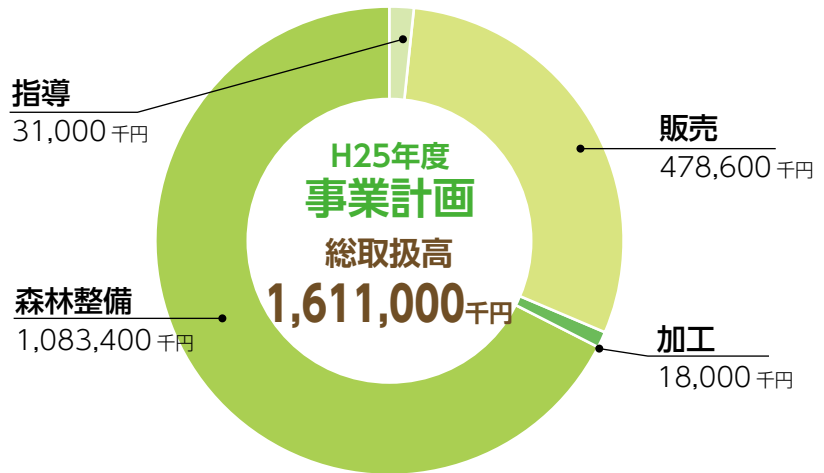
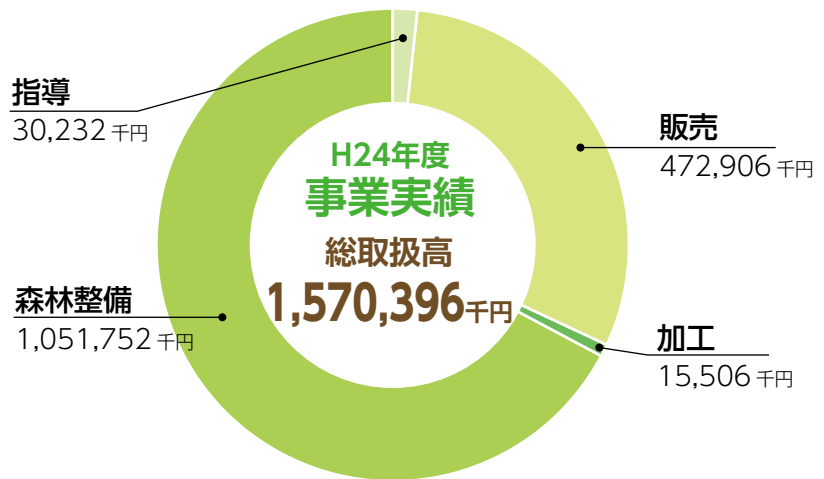
平成二十四年度事業報告

平成二十四年度の事業活動はデフレ基調が長期化し、経済の低迷が続く厳しい状況の中で、地域林業の総合的な担い手としての役割を果たすよう活動し、また新たな補助制度の導入に向け、その必要条件となる森林経営計画の樹立と、施業団地の集約化を重点に取り組みました。

森林整備事業は、地域産材の利活用に向けた搬出間伐を主体に進め、木材の生産は過去最高となる三万三千八百二十立方メートルを記録するなど、各部門において当初計画を上回る成果を上げられたことが報告されました。

平成二十五年度事業計画

平成二十五年度事業は、地域林業の活性化と今後の地域森林の姿を具現化するため、引き続き森林経営計画の樹立を促進すること、地域産材の安定供給体制の整備と、経費の負担が軽減できる搬出間伐を主体とした森林整備事業を行うことなどを盛り込んだ事業計画が承認されました。



最後に、来賓として出席していただきました、長野県上小地方事務所の藤森所長様、東信森林管理署の日高署長様、長野県森林組合連合会の林副会長様、清水純子県議会議員様より祝辞を賜り、平成二十五年度第十八回通常総代会は終了しました。

退任のご挨拶



宮原 毅

この度行政職の任期満了に伴い、長年お世話になりました信州上小森林組合の常任理事の職を辞させていただきます。振り返ると長い歳月の流れでありました。緑の森林を守る理念のもと森林を愛する心を根底に永年勤めさせていただきましたが、その責を果たし得たかと思ひ返す時忸怩たるものがあります。私が役職柄森林行政に関わったのは二十年前となります。青木村森林組合長就任中の平成七年、上小管内の五つの森林組合が大同合併をし、上小の森林組合は現組織となりました。当時は市町村長が組合長に就いておりましたので、新しい組織での元森林組合長を勤められた真田町町長若林康朗氏の後、平成九年より六年間私が信州上小森林組合長を担当しました。その間の日本経済の変遷、林業を取り巻く環境は激動の時代であり、信州上小森林組合もその大きなうねりの中で、外材の攻勢や建築様式の変化等による材価の低迷で山林所有者の森林整備の

放棄が進んだことはご存知のとおりであります。また一時ではありましたが長野県の森林行政に翻弄され、当組合でも技能職員の減員を余儀なくされた時期もありました。そんな厳しい時期を乗り越え現在の優れた事業体へ成長されて今があります。又忘れてはならないのは大久保現組合長はもとより、五十五年に亘り信州上小森林組合の実質トップとして活躍され平成二十三年に勇退された前代表理事組合長荻原幸春氏の大きな功績であります。もちろん、その時々々の役員及び一般職員や技能職員の皆さんの経営を支え続けたご努力に敬意を表するところです。翻って大分昔のことになります。私が信州上小森林組合を担当した平成九年当時、当組合では単板積層材LVL（ベニヤ板）加工施設建設に向かつての事業検討が進行中で、木材消費を理念とする素材生産、製品加工、販売との道筋が検討されておりました。しかし私は森林組合としての事業内容から、製品化の暁、その最終段階における製品の販売が商業的な競争に打ち勝ち得るかどうか疑問を抱き、その事業導入を当時の

役員員の皆様に断念して頂きました。この加工施設導入の問題では、その後加速した林業の厳しさや材価の低迷と、製品の需要や流通状況の変化を思う時、その判断が適切であったかどうかと、今その可否を思い返しております。又この間、平成十一年富士山地籍に上田市の配慮を頂いて、上小森林センターと信州上小森林組合事務所の竣工を見たり、平成十三年に長和町に別法人で建設された「協同組合上小森林材」も記憶に残ります。森林の公益的機能を守る使命が更に求められる時代、課題は多いと思いますが、緑を次の時代に繋げる使命の具現に、これからの信州上小森林組合の更なる活動と努力を期待しております。結びに重ねて申し上げますが、森林の持つ緑の自然が織り成す美しい景観を守り育てる理念の下、これらの諸懸案の上に立ち、信州上小森林組合が益々発展されますよう、又、組合員の皆様のご健勝で活躍あることを念じまして、退任のご挨拶いたします。

JForest 森林組合綱領

— 私たち森林組合の目指すもの —

- 一、森林のめぐみに感謝し、地域環境保全のため、豊かな森林を未来に引き継ごう。
- 一、森林を守り育て、林業と山村を活性化しよう。
- 一、JForest 森林組合への積極的な参加によって、協同の力を発揮しよう。
- 一、自主・自立、民主的運営を基本に、開かれた組合経営を目指そう。
- 一、協同の理念と誇りある仕事を通じて、共に生きがいを追求しよう。



昔に比べ、森林所有者の方が自分の山へ足を運ぶことが少なくなり、また、若い方へ世代交代が進む中で、いざ自分の山へ行つてはみたものの、「山の境界が分からない」といった話をよく聞きます。

そんな状況を何とかするために、森林組合では、森林の境界を調査し確認する「境界明確化事業」を進めています。

組合員のみなさん！

山の境界がわからなくて

困っていませんか？

そもそも森林の境界が分からないと、どのような問題があるのでしょうか。

例えば…

- 手入れを依頼したくても、山の範囲が分からない
- 場所が分からないので、手入れがさらに進まなくなる
- 場所や状況、価値がわからないので、ますます関心が薄くなる
- 豊富な山の資源が活用できなくなる



当組合では、国の補助制度を活用し、平成二十一年度で一五ha、二十二年度に七五ha、二十四年度には五箇所、約九〇haの境界明確化事業を実施しました。

今後とも順次境界明確化事業と併せて間伐等の手入れも進め、地域の森林を守っていききたいと考えています。

境界のことなど、森林に関してお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。



森林組合の山づくり

「森林経営計画」で森林整備を進めましょう！

平成二十四年度より山の手入れの補助金制度が大きく変わりました。今までは個々に森林整備を行ってききましたが、これからは地域ごとに森林をまとめて森林経営計画を作成し、計画的に施業することが、補助金を受けるための必須条件となりました。当組合では上小地域全体の森林経営計画の作成を目指し準備を進めています。



森林経営計画のQ&A

Q 森林経営計画とはどのような制度ですか？

A 森林をどのように手入れし、保護していくか、また作業する道をどのように整備して行くかなど、五年間の計画を立て、それを市町村長等が認定し、計画に沿った事業を行う制度です。

Q 誰が森林経営計画を作るのですか？

A 「森林所有者」または森林組合など「森林所有者から森林経営を委託された者」が作ります。

Q 森林経営計画を作成する目的は何ですか？

A 森林を計画地ごとの大きな単位で管理し、施業を集約化して、作業のコストダウンを図ります。また、計画に沿った作業道を開設しておけば、次の間伐や将来の主伐にも再利用でき、より長期的な計画を立てることも可能になります。

Q 森林組合に森林経営計画を作成してもらった場合に必要なのはありますか？

A 森林組合との間に「森林経営委託契約」を結んでいただくことが必要です。組合では皆さんの山の現

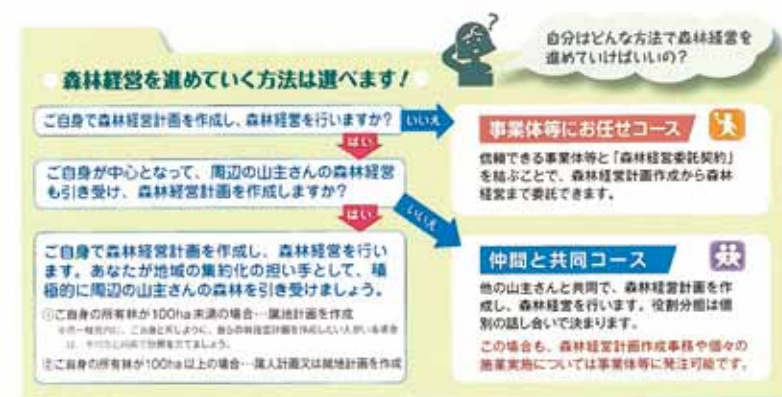
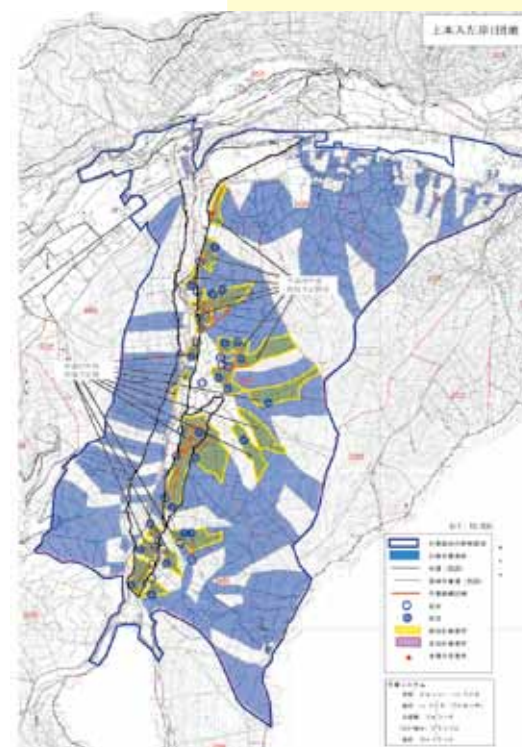
状に合わせた作業プランを立て、適切な「森林経営計画」を作成します。

このほか、森林経営計画制度で疑問に思うことがありましたら、森林組合へお問い合わせ下さい。組合には地元の人に精通した担当者がおりますので、お気軽にお声かけ下さい。

また、この制度についての地区説明会も適宜開催いたします。皆さまの地域で説明会が開催される際には、ぜひご出席をお願いします。

平成二十四年度の森林経営計画は、上田市九団地、東御市四団地、長和町二団地、青木村三団地の計十八団地の認定を受けました。

皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。



出典 (一社) 全国林業改良普及協会

国有林間伐推進コンクール
林野庁長官より
優秀賞を受賞しました



木製の賞状

林野庁の国有林間伐推進コンクール「間伐事業部門」において、当組合のテレスコピックアームハーベスタと路網の整備を組み合わせ、間伐生産性向上等の技術力が認められ、林野庁長官より「優秀賞」を受賞しました。今後ともこうしたことを糧として、技術力の向上と森林の保全に向けて、今まで以上に努力してまいります。

共有林等役員研修会

一月二十二日(火) 開催

共有林等の役員の方を対象とした「共有林等役員研修会」を、上小森林センターにおいて開催しました。当日は上小地方事務所林務課職員より補助制度等の説明を受けたほか、基調講演として「長野県の森林・林業施策について」と題し、長野県林務部の田島課長より森林税を活用した事業の取り組み状況などをわかりやすくお話しいただきました。

また、森づくり相談会として、今後の施業計画などについて、組合職員と個別に打ち合わせを進めました。



SBCラジオで広報

「やまびこ」を紹介

四月一日(月)

SBCラジオ、モーニングワイドラジオJ内の「森と暮らそう」が今年も引き続き放送され、組合活動をPRしていくことになりました。

四月一日には当組合が登場し、組合の広報活動について、広報誌「やまびこ」の取り組みを中心に紹介しました。当組合の次回の放送は、八月五日(月)です。どうぞお楽しみに。

きのこ栽培講習会

三月九日(土) 開催

青木支所では、きのこ栽培講習会を開催しました。

森産業(株)の岩野氏を講師に招き、しめじやしいたけなどのきのこ栽培のポイントについてお話を伺いました。美味しいきのこがたくさん採れるよう期待しています。



森林施業プランナーに
四名の職員が合格

森林施業プランナー協会が主催する「森林施業プランナー認定試験」に、当組合より四名の職員が合格し、認定されました。

今後も森林施業プランナーとして、研鑽を積んでいかれるよう努力してまいります。

依田達支所長	高井 紀和
企画課 主任	田中憲一郎
主任	中村 武志
川東支所 主任	土屋 耕司

森林施業プランナーとは、小規模森林所有者の森林を取りまとめる施業提案書を作成する、施業計画作成の中核を担う人材です。

緑化推進特別

強調月間の取り組み

四月一日から五月三十一日は緑化推進特別強調月間です。

組合では、地域の緑化推進のため、植木まつりを開催したほか、「緑の募金」活動への協力、職員による事務所敷地内の植樹などを行いました。今後も緑を増やし育てる活動を推進し、地域の緑化に取り組んでまいります。



職員でサツキを植えました

理事会報告

三月七日(木)に理事会が開催され、提出された八議案が、審議・承認されました。



里山整備講習会に

講師として参加

三月六日(水)

上田市中丸子、「箱山城桜ロードの会」主催の里山整備講習会が開催され、上小地方事務所林務課の職員と、組合の職員二名が講師として参加しました。当日は、会員と丸子修学館高校の生徒らを前に、マツとナラの伐倒を上演したほか、チェーンソーの取り扱い方や森林整備の方法などについて指導しました。

SBC × JForest

モーニングワイドラジオJ

「森と暮らそう」

毎週月曜午前8時35分～

当組合の今後の放送予定

● 8月5日(月) ● 12月9日(月)

ラジオ放送はインターネット、スマートフォン「radiko.jp」でも聞くことができます。

二日間にわたり開催されたオープニングイベントは、大勢の家族連れでにぎわいました。
青木村のマスコットキャラクター「アオキノコちゃん」も登場し、先着三〇〇名様に花の種をプレゼントしたほか、小学生以下のお子様には釣竿の無料貸し出しサービスを行いました。今後も皆様に楽しんでいただける施設を目指しますので、ぜひ遊びに来てください。



リフレッシュパークあおき
オープニングイベント開催

四月十三・十四日



自然あふれる

別所温泉 森林公園

標高 800m の大自然の中、森林散策や森林浴を満喫しませんか？

木立の中のキャンプ場や、森の清々しさを体感できるバンガローなど、森林公園には森林の楽しさがいっぱい！

秋には栗ひろいや、松茸料理も楽しめます！
ご家族みなでお出掛け下さい。



Information

受付・お問合せ ▶ ☎ 0268-38-2626
開園期間 ▶ 4月から11月
火曜定休（秋の松茸シーズンは無休）



リフレッシュパーク あおき

さわやかな自然の中、溪流釣りやマレットゴルフ、ローラーすべり台など、家族みんなでお楽しみします！

食堂「みやぶち」では、焼肉・そば・うどんなどのお食事や、大小ご宴会も承ります。（ご宴会は要予約）



青木村マスコットキャラクター
「アオキノコちゃん」ストラップ
（税込 630 円）
リフレッシュパークあおきでも
好評発売中です！



Information

受付・お問合せ ▶ ☎ 0268-49-2923
開園期間 ▶ 4月から11月
水曜定休（7月～8月は無休）

夏のご宴会 飲み放題付 好評承り中です。



夏もいよいよ本番。暑気払いや
各種宴会プランをご用意しております。



板前が心を込めた手作り料理です。

食事処 **しゅん** [お問い合わせ] ☎ 0268-72-3986

飲み放題2時間付
お1人様¥3,500円～(税込)

料理内容、ご予算等ご希望に合わせてお作りいたします。お気軽にお問い合わせください。

飲んでも安心!! マイクロ送迎
6名様から無料送迎致します。
(要予約)

ようこそ！ 特産センターへ



東御市では、地元産材のカラマツを使った保育園の建設を進めています。四月二十三日には東御市内の全六保育園の園児約四百名が伐採現場を訪れ、チェーンソーでカラマツを伐採する様子を見学しました。当組合の職員が、高さ約二〇メートルのカラマツを伐採すると、めりめりと大きな音を立てて倒れる様子が驚き、大きな歓声を上げていました。

東御市の保育園児が
カラマツ伐採現場見学
四月二十三日(火)



高性能林業機械の紹介

昨年秋に、当組合では5台目となる「フォワード」を導入し、搬出間伐の現場で活躍しています。

今回は、高性能林業機械であるこの「フォワード」を紹介します。

玉切りされた材（短幹材）の積み込み、積み下ろし、小運搬を担う集材専用の林業機械です。丸太を荷台に乗せて運搬するので、立木を傷つけたり、材を泥などで汚すことが少なく、簡単に出材することができます。

「フォワード」とは？

フォワードの導入により、細かく張り巡らせた林内路網を活かして搬出を行い、作業の効率化や安全性の向上、そして搬出コストの削減が実現できました。

搬出能力の向上とコスト削減



キラリ! ニューフェイス 紹介

4月1日より6名の新しい仲間が増えました。
組合員の皆さん、どうぞよろしくお願いします!



技能職員 岡田彩希

技能職員として一日でも早く先輩方と肩を並べられるように、日々努力していきたいです。



技能職員 西山 渉

入ったばかりの新米で、覚えることがたくさんありますが、一生懸命仕事をやり、早く先輩たちに追いつきたいです。



技能職員 布施敦司

4月から社会人になり、自覚を持って仕事をしていきたいです。



技手 岸田聖司

一日でも早く仕事を覚え、森林のプロとして、組合員の皆さまに信頼される職員を目指して頑張ります。



書記 永井ひかり

初めて社会に出て、自分の未熟さを痛感しました。早く仕事を覚え、組合に貢献できるよう頑張ります。



書記 片桐弘恵

地域と組合員の皆さまに、一日でも早く貢献できますよう、勉強し尽力いたします。

もり 森林シンピ



自然をたのしむ



これだけで美味しい「笹の葉茶」のできあがり!
芽吹きだしたばかりの葉を使うと、より季節の香りが楽しめます。
よもぎを入れて、ブレンド茶にしてもおいしいです。
ぜひお試しください。

- ① 笹の葉をよく水洗いする
- ② 適当にみじん切りにする
- ③ 鍋に入れて乾煎りする
- ④ 香りが出てきたら、水を入れて10分ぐらい煮出す

おいしい!

「笹の葉茶」の作り方



よもぎ



笹の葉

森林のはたらき ~癒やしの香り~

森の中に入ると、清々しい「森の香り」が漂い、気分をリフレッシュできます。

この森林浴効果をもたらす香りの正体が「フィトンチッド」と呼ばれています。

これは樹木などが発散する揮発性物質のことで、リラックス効果を高めるだけでなく、抗菌・防虫・消臭などの作用があると考えられています。

健康で安らぎのある生活を送るためにも、この森の恵みが欠かせません。



<応募はがきの記入方法>

※発表は商品の発送を持ってかえさせていただきます。
(平成25年6月30日消印有効)

- 1...クイズの答え
- 2...住所・氏名・年齢
電話番号
- 3...組合、広報誌への意見がございましたらご記入下さい。

裏

〒386-1212

上田市
富士山 2464-226

信州上小森林組合
やまびこ編集部

表

正解した方の中から、抽選で3名様に「食事処しんりん」1000円分の食事券をプレゼントします!

答え

- ① 光合成
- ② フィトンチッド
- ③ 炭素
- ④ ヒノキチオール

問題

森林浴効果を高める香りの正体は?

オネクイズ



組合からの お知らせ



●人事のお知らせ

【採用】

職員 員 四月一日付

岸田 聖司（企画課兼

上田支所技手）

片桐 弘恵（森林整備課兼

上田支所書記）

永井ひかり（青木支所書記）

技能職員 四月一日付

岡田 彩希（企画課付）

西山 渉（企画課付）

布施 敦司（企画課付）

【退職】

技能職員 一月三十一日付

島田 信夫（企画課付）

【昇任】

職員 員 四月一日付

森林整備課兼上田支所技師

中沢 倫季（森林整備課兼

上田支所技手）

依田窪支所技師

後藤 輝明（依田窪支所技手）

6月2日(日)まで開催

「植木まつり」に お越し下さい



毎年恒例の「植木まつり」を6月2日(日)まで開催しています。豊富な種類の植木や花、果樹苗木を多種取り揃え、皆様のお越しをお待ちしております。

開催期間もあとわずかです。良い品物を大特価にてご提供しておりますので、この機会にぜひお出かけください。庭造りの相談等も承ります。お気軽にご相談ください。



わが町の巨樹・古木

「天神宮のケヤキ」
(上田市岩下 81-5)

東西に2株あるケヤキの大木は、両株とも落雷の跡とされる大きな空洞がありますが、生育がよく、上田市にあるケヤキの中では最古の木と考えられ、地域の誇る大木です。
(上田市天然記念物指定 昭和52年3月18日)

●組合員さんの名義変更について

組合員であった人が死亡、または相続により変更がありましたら、「組合員の死亡届と相続人の加入申込書」の提出をお願いいたします。詳しくは各支所にお問い合わせ下さい。

あ と が き

林業を題材とした小説、『神去なあなあ日常（三浦しん）著』を読みました。

林業とは無縁だった都会育ちの青年が、林業を生業とする山村の中で、慣れない生活に戸惑いつつも、山仕事の奥深さを知り、次第に林業に魅かれていく姿が描かれています。

組合にも、この四月から新たに六名の若者が仲間に加わりました。彼らもこの小説の主人公のように、森や里山の大切さを肌で感じ、なにより組合員さんとの交流を深めながら、林業を通じて一歩ずつ成長して欲しいと思います。

■信州上小森林組合

本所・上田支所 ▶ ☎0268 (39) 8522/FAX0268 (39) 8523
依田窪支所 ▶ ☎0268 (68) 2172/FAX0268 (68) 2056

川東支所 ▶ ☎0268 (72) 3703/FAX0268 (72) 3881
青木支所 ▶ ☎0268 (49) 2021/FAX0268 (49) 2641